

会員の特典

- 1 幼児教育研究大会、全幼研教育経営研修会等の研究大会に、会員として参加できます。
研究大会 5,000 円(一般 10,000 円)
教育経営研修会 4,000 円(一般 7,000 円)
* 学生は、学生割引で参加できます。
- 2 大会、研修会では最新の情報が得られます。
* 文部科学省、厚生労働省、内閣府等の最新の施策について学ぶことができます。現代を代表する講師陣により、乳幼児教育・保育に関する最新の知見が得られます。
* 国公私立幼稚園・保育所・こども園の保育者、大学の乳幼児教育・保育関係教員、行政関係者と情報交換ができます。
* ワークショップや基礎講座を受講することで、その時々の教育課題について、楽しく学ぶことができます。
- 3 各支部の研修会、活動に参加できます。
- 4 研究助成を受けることができます。
- 5 研究成果、広報誌等が配布されます。
- 6 ホームページに会員専用ページがあります。
* 乳幼児教育・保育の最新情報、研究紀要、広報誌「若竹」のバックナンバーが見られます。

会員になるには

全幼研事務局、または、お近くの会員にご連絡ください。

<年会費>

個人会費	4,000 円
団体会費	8,000 円 (1園2名まで)
法人会員	30,000 円
特別法人会員	200,000 円
学生会員	1,000 円

全幼研の歩み

- S27 全国モデル幼稚園協議会創立
第1回全国モデル幼稚園協議会開催
(その後、名称を変更し、現在は全国幼児教育研究大会となる)
「研究資料」第1号発行
- 29 機関誌「わかたけ」第1号発行
- 30 全国幼稚園施設協議会と改称
- 53 全国幼稚園教育研究協議会と改称
- 54 「幼稚園施設研究」を「全幼研研究紀要」と改称
- 55 第1回幼稚園経営研修会開催
- 56 調査研究開始 調査研究報告書作成
- H5 調査研究推進園・協力者会議の発足により、文部科学省より研究委託を受ける(以降毎年)
- 13 創立50周年式典・記念研究大会・祝賀会開催
文部科学省より感謝状授与
- 18 社団法人全国幼児教育研究協会設立
- 23 創立60周年式典・記念研究大会・祝賀会開催
- 25 公益社団法人全国幼児教育研究協会へ移行
本部事務局を現住所に移転

全幼研事務局

住 所 〒102-0074
東京都千代田区九段南2-4-9
第3早川ビル8階

T E L 03-3239-8066

F A X 03-3239-0038

E-mail admin@zenyoken.org

U R L <http://www.zenyoken.org>



公益社団法人 全国幼児教育研究協会



時を止めず前進する全幼研

理事長 福井 直美

本会は70年前に当時の文部省内に事務局を置き、幼児教育を研究する機関として発足しました。2021年8月2日には70周年を迎えます。その当時より施設や保育の在り方について、常に子どもの立場から追求してきました。コロナ禍であっても時を止めることなく、前進し続けています。

「地球の未来を共に作り、さらにAIの時代をたくましく人間らしく生きていく子どもたちを育てる」ため、今しかない幼児期という「時」を止めず、多様な経験ができることを願って研究・研修に取り組んでいます。

研究大会・教育経営研修会・リモート研修会などに参加し、保育を共に考え、保育力を磨き合いたい人、ぜひご入会ください。

全幼研の事業

全幼研の魅力とは

会員は、幼稚園、保育所、こども園、大学等、乳幼児教育・保育関係者です。全国の乳幼児教育・保育に関わる様々な立場の会員が、情報を交換したり、学び合ったりする全国規模の公益社団法人です。また、身近な地域でも研修会を実施し、共に学び合う仲間づくりができます。

研究助成制度について

広く乳幼児教育・保育の現場で行われている自主的な研究に対し、研究助成を行い相互の見識を高め、乳幼児教育・保育の振興と充実を図るために、「研究助成制度」があります。

<助成金額> 研究奨励・・・10万円
研究助成・・・5万円

発行書籍

保育のヒントがいっぱい！



その他、多数発行しています。HPでご確認ください。



全国幼児教育研究大会・教育経営研修会・ワクワクプロジェクト

全国の国公立・私立の幼稚園・保育所・こども園の保育者が集い、講演会や乳幼児教育・保育の課題に基づいた分科会、ワークショップなど、共に学び合っています。

免許更新講習

研究大会では、免許更新講習も行っています。
(選択 12・18 時間)

研究大会分科会



素材について研究し、楽しい活動をしたかったです。ワークショップで学んだことを早速実践してみます。早く子供たちに会いたくなりました。



研究大会ワークショップ

教育経営研修会

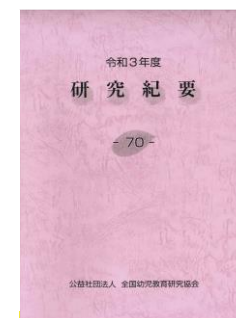


いつも、最新の情報を聴くことができ、幼児教育の現状や課題がよく分かります。
10年、20年先を見据えた保育実践を重ねていきたいと思えます。

「多様な教育機関の方々や他県の先生方と語り合い、どこかでひとつに“つながっている”ことが感じられました。講師の先生のお話でグループ協議の内容が深まり、大変勉強になりました。

研究紀要

文部科学省委託研究の成果など、最新の教育課題に対応した提案や論説を掲載しています。



機関紙「若竹」

「若竹」は、大会や教育研修会報告、また、保育に生かす実践や遊び、考え方などを紹介しています。

